



東洋公衆衛生学院 同窓会 会報 第19号

郵便番号151-0071 東京都渋谷区本町6-21-7 東洋公衆衛生学院 同窓会 事務局、
Tel 03-3376-8511 Fax 03-3376-4345 E-mail alumni@toyophc.com

コンテンツ

1. 令和7年度 役員会報告
2. 学院の様子
3. 在校生の近況
4. 学校の増築の様子

令和7年度役員会報告

第1回目は2025年7月25日(金)に行われ、各委員会より活動状況の報告があり、学院祭での同窓会講演の人選を進めることが確認されました。次回までに各委員会は年度の活動計画を提出します。また、新役員として放射線科43期・加瀬氏が承認されました。

加えて、同窓会と学院の運営上の取り決めとして、①同窓会費の学校集金の明文化、②役員会開催時の校舎利用手続きと使用料(5万円)の整理、③同窓会メールアドレスの明文化について検討を進めることが決まりました。

第2回目は2025年10月17日(金)に行われ、令和8年度入学試験合格者への入会案内送付について確認され、各委員会から活動報告が行われました。

また、学院祭講演については臨床検査技術学科50期生の柴海未菜さん(昭和医科大学病院)へ依頼状を送付することが決定。併せて、同窓会費の徴収依頼についても整理が進められました。

議題としては、学院祭同窓会講演、総会提出議案、令和8年度予算案などが取り上げられ、今後の検討事項として総会日程の調整、講演会・懇親会の運営、役員の追加選任などについて確認されました。

学院の様子

1) 学内体育祭(2025年6月24日・駒沢オリンピック公園)

今年度の学内体育祭は、駒沢オリンピック公園の屋内競技場にて開催されました。男子はフットサルとバスケットボール、女子はバスケットボールとバレーボールを実施し、学科を越えて応援が飛び交うにぎやかな一日となりました。臨床検査科・放射線科を問わず学生同士の交流が深まり、会場には活気があふれていました。



2) 夏休み親子科学教室(2025年8月9日)

新館で開催された「夏休み親子科学教室」では、地域の親子を対象に2つの理科講座を実施しました。

「血液の細胞を観察してみよう」「方位磁石タワーを作ってみよう」の2講座が行われ、参加者はそれぞれの教室や実習室で体験的に学ぶ時間を楽しみました。

授業の実演、実習準備、誘導、写真撮影など多くの教員と学生が協力し、全体を通して温かい雰囲気の中で進行しました。修了式では学院長からの挨拶と修了証の授与が行われ、最後は参加者・教員・学生がそろって記念撮影を行いました。地域交流にもつながる、夏らしいイベントとなりました。



3) 学院祭(2025年11月27日・さくらホール)

学院祭は今年も渋谷区文化総合センター大和田「さくらホール」にて行われ、発表会形式で実施されました。臨床検査科から5演題、放射線科から10演題の発表があり、日頃の学びの成果が多く披露されました。

また、学院長による講演と同窓会講演も行われ、学生にとって刺激の多い充実した催しとなりました。

臨床検査技術学科50期生 柴海未菜さん、ご講演ありがとうございました。



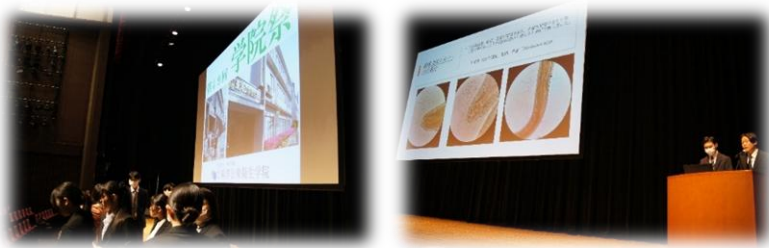
在校生の近況

～ 臨床検査技術学科からの近況報告 ～

1) 3年生(58期生)の様子

5月～8月までの臨地実習を終え、国家試験対策研修を経て、9月からは3年間の集大成の講義に集中している毎日です。朝8時に集

合して夜 7 時まで講義と自主学習をおこなう勉強漬けの毎日です。もちろん、この間に就職活動もおこなっている状態で、何事も計画的におこなわないとうまいかないことを実感しているところであると思います。班を組み、主要 7 科目を当番制でそれぞれ 5 択 5 問の問題を作成し、毎朝ミニテストをおこない、放課後にはこの解説を作成班がおこなっています。まさに“塵も積もれば山となる”の原理を活かして国家試験合格に向け日々研鑽を積んでいます。11 月 27 日(木)の学院祭ではこの忙しい勉強の合間を縫って有志が発表しました。臨地実習で経験したこと(緊急輸血や不規則抗体について)、興味を持って実験した成果(アニサキスの形態)などを発表し、Power point 作成や多くの人の前で表現することなどを体験し、良い経験になったと感じています。



2) 2年生(59期生)の様子

2 年生は座学より学内実習が多いため、毎日実習室の生活を送っています。後期中間試験も終了し、2 年生の生活もラストスパートとなります。3 年生同様 11 月 27 日(木)の学院祭で有志が 2 組発表をおこないました。例年 3 年生が主流でしたが、今年度は 2 年生からも発表希望が出て、非常に頼もしく感じました。2 年生は 2 組とも興味を持って実験した成果(「飲料が菌に与える影響」や「環境にはびこる常在菌」)などを発表しました。短い準備期間に協力して予備実験をしている姿は臨床検査技師を目指す学生としての前向きな姿勢を感じました。11 月 28 日(金)には保健体育の授業の一環として国立科学博物館見学や上野周辺の散策など学外に出での学修があり、幸いにも天気にも恵まれ気分転換にもなったと思います。

今年度の 2 年生は全員 12 月に試験が行われる日本不整脈心電学会 心電図検定 3 級に挑戦します。希望制に関わらず、全員が挑戦する意欲はよい結果に繋がってくれればと思っています。毎日送付される心電図波形や、講習会を経て挑戦していきます。一人でも多く、小さな成功体験を掴んで欲しいと思っています。

3) 1年生(60期生)の様子

今年度の 1 年生は、例年の 1 年生よりまだまだ幼さが抜け切れていない感の多い学年です。なぜ臨床検査技師を目指したのか? 自分の目指した臨床検査技師という職業はどのような職業なのか? 自分はどこへ向かっていくのか? などの職業的アイデンティティを早くに確立すべく進んでいく学生は、この時期から大きく成長していきます。臨床検査技師の仕事のやり甲斐と面白みを知る前に勉強の大変さに押しつぶされてしまう学生も多々存在します。1 年生の授業は座学が多いため、所々実習を入れながら気分転換を図っての授業構成をおこなっています。『「命」と向き合っていく仕事なので、そう甘くはない。』このような自覚が少しでも芽生えてくれればと思っており、青年期の葛藤と向き合いながら一步一步成長していったらいいと感じています。



～ 診療放射線技術学科からの近況報告 ～

1) 3 年生(44 期生)の様子

3 年生は、学外実習や見学を通して専門性を深めた半年間となりました。7 月には放射線治療と核医学の臨床実習を行い、医療現場での実践に触れる貴重な経験を積みました。

9 月 2 日・3 日には那須のキャノン工場を訪問し、CT や一般撮影装置の製造工程を見学。放射線治療装置の最新技術についての説明も受け、医療機器への理解をさらに広げました。

加えて、見学行程の一部として黒羽山 大雄寺にて座禅体験を行い、静かな環境の中で心を整える時間を持つことができました。こうした体験は、国家試験を控える学生にとって大きなリフレッシュにもなったようです。

現在、学生たちは模試を重ねながら 2 月の国家試験に向けて真剣に取り組んでいます。今年度の国家試験は、出題形式が変わって 2 年目にあたります。昨年は初年度ということもあり、比較的穏やかな難易度でしたが、今年はやや厳しめの出題が予想されています。そうした環境の中でも、3 年生は落ち着いて準備を進めており、これまでの学びを力に変えて頑張っている様子が感じられます。



2) 2 年生(45 期生)の様子

2 年生は、専門科目の学習が本格的に進む時期でありながら、要所で実りある行事を経験した一年となりました。5 月には放射線技師養成校による連合体育大会に参加し、学校の垣根を越えた交流の中で球技大会が行われました。続く 6 月の学内体育祭では、仲間と協力しながら競技に取り組み、会場には終始にぎやかな雰囲気が広がりました。

今年度は新しい取り組みとして、7 月 7 日に紳士服 AOKI による「スーツの着こなし・メイク講座」を実施しました。身だしなみの基本や就職活動を意識したポイントを学び、多くの学生が“社会に出る準備”を意識するきっかけとなりました。

8 月には有志 8 名が第 1 種放射線取扱主任者試験に挑戦し、10 月末の結果発表で 1 名が見事合格。授業と並行した挑戦でしたが、

積み重ねが形となり、学生たちの励みとなっています。

さらに、9月・10月には診断部門（一般撮影・CT・MRI など）の臨床実習を実施し、医療現場の業務を直接体験しました。実習を通して、医療従事者としての責任感や専門性の重要性を改めて実感した様子がうかがえました。

行事の数は多くありませんが、2年生にとっては“学びの質”が深まった半年間となりました。



3) 1年生(46期生)の様子

1年生は、学生生活のスタートとなるこの半年で、多くの研修や行事を通して基礎づくりに励んだ時期となりました。

4月10日・11日には新入生研修旅行を鴨川で実施しました。研修では、医療に携わる者としての姿勢や心がまえについて学び、また、同窓生である清水万慈さん(34期生・亀田総合病院)よりご講演をいただき、医療現場で働く先輩の言葉に耳を傾ける貴重な機会となりました。

7月には渋谷消防署で救命講習を受講し、応急手当の基礎やAEDの使用方法などを学びました。医療系の学科として、今後につながる重要な体験となりました。

9月26日には上野の国立科学博物館を訪れ、展示を通して科学技術や自然史への理解を深める研修を行いました。

11月27日の学院祭では発表を行う側ではなく聴講として参加し、上級生の発表や学院長・同窓会講演に触れ、今後の学習への意欲づけとなったようです。

入学からの半年でさまざまな活動を経験し、学習面・生活面ともに確かな成長が見られる時期となりました。



学校の増築の様子

来年8月に完成予定の新校舎増築の様子をご覧ください。建築関係には疎いですが、窓から覗けば、日々工事が進行していることを実感します。音の出る工事、振動のある作業もありますが、完成が楽しみです。



9月



10月

➤編集後記

1年前の反省を踏まえ、今年は行事のたびにできるだけ多くの写真を残すよう心がけました。そのおかげで、会報誌を彩るカットもぐっと充実したように思います。

もちろん、すべての行事に参加できるわけではありませんが、学内の同窓生スタッフの皆さんに多くの場面を支えていただき、こうして会報誌を形にすることができました。心より感謝申し上げます。

編集委員長 田中宏和

同窓生からの原稿を募集します!

同窓会会報を同窓生のコミュニティの場にしませんか?

卒業生の活躍を掲載したいと思います。広く原稿を募集していますので、下記メールアドレスまで投稿して下さい。

facebookでも情報発信中

ホームページ @toyoCollegeAlumni

東洋公衆衛生学院 同窓会事務局

151-0071

東京都渋谷区本町 6-21-7

電話番号 : 03-3376-8511

FAX 番号 : 03-3376-4345

メールアドレス: alumni@toyo-college.ac.jp

